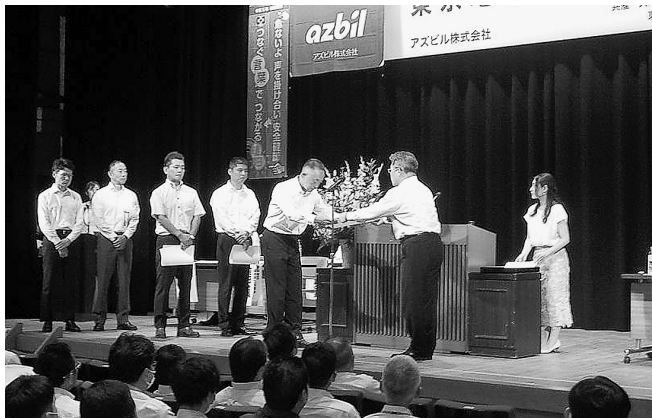


© PHOENIX CONTACT 2023

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■アズビル、2023年度安全衛生大会を開催 労災ゼロ&安心・健康で働ける職場環境づくり推進
アズビルは、7月12日に品川区立荏原文化センター(東京都品川区)で東京地区の安全衛生大会を開催した。リモートを含む450人が参加し、労働災害防止活動の重要性を再確認し、労働災害ゼロに向けたさらなる取り組みの推進を誓った。



ビルシステムカンパニー東京本店長武田知行氏はあいさつで「本日は3年ぶりの会場での開催となった。対面で皆さんと職場における労働災害防止活動の大切さを再確認できることは非常に意義がある。これから本格的な夏を迎えるが、例年通り万全な熱中症対策で業務に臨んでほしい。来年も笑顔で安全衛生大会を迎えられるように。ご安全に」と話し、その後、現場で優れた安全衛生活動に携わった個人とグループの表彰を行った。

また今年度の安全衛生大会は全国11カ所で開催する予定となっている。

■フェニックス・コンタクト、12月22日までの期間限定「工具キャンペーン2023」開催

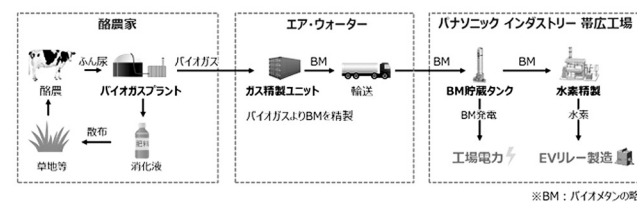
フェニックス・コンタクトは、ドイツ本社創設100周年、日本人設立35周年を記念して、同社の工具「TOOL foxシリーズ」がお手ごろ価格で購入でき、さらに先着200人にはドライバと特製ドライバホルダがもらえる「工具キャンペーン2023」を実施している。期間は2023年12月22日受注分まで。

TOOL foxシリーズは、ドイツ発祥のプロ向け工具TOOL foxシリーズ。「作業者の手にフィットする作業工具」と「人間工学に基づいたハンドル設計」、「最適化されたレバー動作」を特長とし、切る・むく・かきめる作業負荷を最大25%削減する。



■パナソニックインダストリー、家畜由来のバイオメタンを工場電力と製品材料に活用
パナソニックインダストリーとエア・ウォーターは、2025年度をめどに、北海道帯広市のパナソニック

クスイッチングテクノロジーズ帯広工場で、家畜のふん尿から製造したバイオメタンを工場電力と製品材料に利用する地産地消のエネルギー活用モデルの取り組みを開始する。



パナソニックインダストリーは、工場の敷地内に発電設備(コージェネレーションシステム)を導入し、家畜ふん尿由来のバイオメタンを使用する。これにより同工場から排出されるCO₂は2027年度に2022年度比で約5割以上削減される見込み。また同工場で製造している環境対応車向けのEVリレーは製造工程で水素ガスを使用しており、供給するバイオメタンの一部から水素を製造し、CO₂フリー水素を製品の一部に利用していく。

エア・ウォーターは、同工場へ安定的にバイオメタンを供給するため、今まで以上に家畜ふん尿由来のバイオガスの捕集先を増やし、その規模を拡大する。また、酪農家に設置するガス精製ユニット内に分離膜を追設し、バイオメタンのみを吸蔵・輸送するなど、製造コストの低減を図る。

■アドバンテック、カーボンニュートラルに向けたエネマネシステム活用事例をリリース

アドバンテックは、カーボンニュートラルを実現するためのエネルギーマネジメントシステムやソリューション「iEMS(インテリジェントエネルギー管理ソリューション)」の活用事例をまとめた冊子「Energy Management」をリリースした。

工場設備の運転、スマートビルディング、水資源処理など社会の様々な領域でカーボンニュートラルを実現するため同社のソリューションiEMSが有効であると解説し、実際の活用事例も紹介している。



■アドバンテック、TECHNO-FRONTIER2023出展レポートを公開

アドバンテックは、2023年7月26日から28日に、東京ビッグサイトで開催された展示会「TECHNO-FRONTIER2023」に出展し、その様子のレポートを公開した。

ブースでは、各種産業用PCやネットワーク機器に加え、タッチパネルにCODESYSを搭載したEtherCATコントローラを使った包装機ソリューションのデモ展示、3軸モーションのデモ展示、オリエンタルモータ社のステッピングモーター「AZシリーズ」と同社のコントローラAMAX-5570との組み合わせなどを展示した。



■Cohesity、データセキュリティとデータ管理に関する調査発表 ランサムウェアの脅威高まる
Cohesityは、データセキュリティとデータ管理に

関する調査を発表し、回答者の92%以上が2023年にランサムウェアの脅威が高まったと考え、およそ5人に4人がデータとビジネスプロセスの復旧のために身代金の支払いを検討すると回答した。

調査では、2023年にランサムウェアの脅威が高まったと感じた回答が9割以上に上り、3割以上が過去6カ月間にランサムウェアの攻撃被害にあったとしている。また被害にあった際、データの復旧やビジネスプロセスにかかる時間は9割が24時間以上、59%が4日以上、33%が1週間以上と回答し、激しくなり、増加



するサイバー攻撃に対しては、復旧や回復能力の強化が重要だとしている。

■スキャンディット、スマートフォンで拡張現実(AR)を活用して倉庫や棚の商品検索を効率化

スキャンディットは、スマートフォンなどの拡張現実(AR)オーバーレイを利用し、倉庫や棚から目当ての製品を迅速に検索することができるソフトウェア「MatrixScan Find」を開発した。目視と手動による検索作業と比べて高効率で高精度に探すことができる。特に見た目が似ていたり、箱に入っているものから特定の製品を探すのは手間がかり、同ソフトはARによって視覚的に支援してより早く見つけられるようにする。

また、同社はソフトウェアによる自動認識ソリューションを展開し、ハンディターミナルなど専用機から、スマートフォン+ソフトウェアにすることでシステム構築にかかるコストや工数、保守メンテナンスの手間も省くことができる。

生産終了

■シュナイダーエレクトリック、テレメカニク製センサ販売終了

シュナイダーエレクトリックは、2022年に産業用センサのTelemecanique Sensors(テレメカニクセンサーズ)部門を台湾の電子部品大手YAGEO社に売却したこととともない、2023年7月31日でテレメカニクセンサーズ製品すべての取り扱いを終了した。

対象製品は、無線リミットスイッチ(XCMWシリーズ)全品(無線押しボタンスイッチは同社が販売を継続)、ホイスト・クレーン向けリミットスイッチ及びレーザーセンサ全品、RFIDシステム製品全品、そのほかテレメカニクセンサーズの製品全品。販売とサービスは引継ぎ会社のTESE Japan社が担当する。

■オムロン、2024年9月でセーフティドアスイッチD40Zシリーズ生産終了

オムロンは、2024年9月でセーフティドアスイッチD40Zシリーズを生産終了する。最終受注は2024年9月末、最終出荷は2024年11月末。推奨代替品はセーフティドアスイッチD41DシリーズまたはD40Aシリーズ。

■オムロン、2024年3月でプログラマブルコントローラCJ1W-ADG41生産終了

オムロンは、2024年3月でプログラマブルコントローラCJ1W-ADG41を生産終了する。最終受注は2024年3月末、最終出荷は2024年9月末、修理対応終了は2031年3月末。推奨代替品は、プログラマブルコントローラ、CJ1W-AD042またはマシンオートメーションコントローラNX-HAD401またはNX-HAD402

■オムロン、2023年9月で多軸モーションコントローラ3-3958A-00-111M-□000など生産終了

オムロンは、2023年9月で多軸モーションコントローラ3-3958A-00-111M-□000など生産終了する。対象製品は3-3958A-00-111M-□000、3-3958A-00-211M-□000、3-3958A-00-311M-□000、3-3958A-00-511M-□000。最終受注は2023年9月末、

最終出荷は2023年12月末、修理対応は2026年12月末まで。

推奨代替品は、3-3958A-00-111M-□000が3-3958A-00-121M-□000(2023年8月発売予定)、3-3958A-00-211M-□000が3-3958A-00-221M-□000(2023年8月発売予定)。3-3958A-00-311M-□000と3-3958A-00-511M-□000は推奨代替商品なし。

■オムロン、2023年7月で温度調節器PTシリーズ一部商品、ビーズPTシリーズ一部商品を生産終了

オムロンは、2023年7月で温度調節器(デジタル調節計)PTシリーズ一部商品とビーズPTシリーズ一部商品を生産終了する。最終受注は2023年7月末、最終出荷は2023年8月末。推奨代替品は、PTシリーズ一部商品がPT-Nシリーズ(2023年8月または9月発売予定)、ビーズPTシリーズ一部商品がPT-N(BEAD)シリーズ(2023年8月発売予定)。

■オムロン、2025年3月で画像センサFZ-DU生産終了

オムロンは、2025年3月で画像センサFZ-DUを生産終了する。最終受注は2025年3月末だが、製品がなくなり次第販売を終了する。最終出荷は2025年4月末、修理対応終了は2030年3月末まで。推奨代替品はなし。

■オムロン、2024年3月でロータリエンコーダ、光電センサ、フォト・マイクロセンサ一部製品を生産終了

オムロンは、2024年3月でロータリエンコーダ、光電センサ、フォト・マイクロセンサの一部製品を生産終了する。最終受注は2024年3月末、最終出荷は2024年6月末。対象製品は、E6A2-CSシリーズ一部商品、E6C3-ANシリーズ一部商品、E6H-CWZ6C-5 1000P/R 0.5M、OAS-160シリーズ一部商品、E3S-Aシリーズ一部商品、E3S-LS3PT-M3J 0.3M、E3S-LS3PWT-1 2M、E3S-R81 5M、E3Tシリーズ一部商品、E3ZMシリーズ一部商品、E39シリーズ一部商品、EE-SA801A-R 3M。推奨代替品はなし。

停電に強い電源づくり。

災害時での
電源停止を未然に防ぐ。
100年企業のノウハウを
この製品に盛り込んでいます。
2つの電源を安全に切り替える機能が
1台にすべてパッケージされています。



切替器専門メーカー
高田製作所
Since1919

太陽光や発電機を停電時でも安心して活用できます
電源自動切替器 ACMS-A
電源容量が選べます。100A 150A 200A 300A 400A

2系統の電源を停電時に **自動** で切り替える製品です。
内蔵切替器は大手蓄電池メーカーの
非常用切替に長年採用されています。

詳しくは <https://www.takadass.co.jp/>



すべての仕様書が
<仕様・外形図・回路図>
ホームページから
ダウンロードできます。

tu na ga ru
ユ-エ イ ツナガルシステム

Powered by
EnOcean
Self-powered IoT

IoT×キャスターが
世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 **ユ-エ イ**

IoTシステムを体験できるショールーム
YUEI Technology Center (YTC東京)
詳細はこちら!



富士電機
Innovating Energy Technology

富士電機機器制御株式会社

代表取締役社長

森 本 正 博

埼玉県鴻巣市南一丁目五番四五号
〒369
0192 ☎〇四八(五四八)一一一

代表取締役
会長 兼 社長

船 木 俊 之

05332
0004

大阪府淀川区西宮原二丁目六番六四号

☎ 06(2398)1500

株式会社ジェイテクトエレクトロニクス

代表取締役社長

森 豊

東京都小平市天神町四丁目九番一号
〒1867
01004 0401(0104)1111

HOKUYO

北陽電機株式会社

代表取締役社長

尾崎 仁志

大阪府西区江戸堀一丁目九番六号
肥後橋ユニオンビル
〒550
020 ☎ 06(441)3111

PATLITE®

株式会社パトライト

代表取締役社長

山田裕稔

大阪市中央区久太郎町四丁目一番三番
〒5541005
06-6772-8950

WashiON

代表取締役社長

追分 泰

WashiON 共立継器株式会社

長野県諏訪郡下諏訪町四六八四番一号
〒3393
00873 電話 〇二六六二七八九一〇

FASTUS
Good Thinking. Good Future

代表取締役社長

中島達也

京都市下
京区中堂寺栗田町九一
番四号
電話 〇七五(二三)二九三〇

80150

エフエー株式会社


**KOKUSAI
DENGYO**
 STEP INTO THE FUTURE.

代表取締役社長
 古川 長武
 名古屋市昭和区四上町二七番地一四号
 〒466
 0054
 ☎〇五二(八七二)六六二一

株式会社 サンミューロン

代表取締役社長
川島 敬介

東京都品川区戸越三丁目二番一〇号
〒114-2
0141 電話 03(3781)2671



スワロー電機株式会社

会長

代表取締役社長

河原実
河原道彦

大阪市東住吉区桑津二丁目六番三号
〒541-6
0041 ☎06(6)74-0041

株式会社 壬生電機製作所

取締役会長

宮澤 勇夫

代表取締役社長

古野 修

京都府南区吉祥院仁木ノ森町五〇番地
〒600-1
8604 電話 〇七五(六八二)八五一

不二電機工業株式會社

代表取締役社長 八木達史

京都市中京區御池通富小路西入る
東八幡町五八五番地
〒604-0954
☎〇七五(三二)七九七八

フエニックス・コンタクト株式会社

代表取締役

青木良行

横浜市港北区新横浜一丁目七-九
〒222-0292 大倉新横浜一丁目六-三
03-3361-0045 03-3361-0093

ロックウエルオートメーションジャパン株式会社

代表取締役社長 矢田智巳

東京都中央区新川一丁目三番一七号
〒110-4
01033 ☎ 03(3131)6717 7811

見舞い げます

A stylized illustration of a goldfish jumping out of a circular frame, creating a splash. The goldfish is depicted in a dynamic, leaping pose, with its body curved and fins spread. The splash is represented by concentric, swirling lines around the point of exit from the circle. The entire illustration is rendered in a light gray tone against the white background.

暑中お
申し上



 by **Schneider Electric**

シュナイダーエレクトロニクスホールディングス株式会社
 日本統括代表
 代表取締役社長

白 幡 晶 彦

東京都港区芝浦一丁目二番六号
 〒100-8
 オークスビル
 01083 〆三(五九二)七六五一

ADVANTECH
Enabling an Intelligent Planet

アドバンテック株式会社

執行役員
インタストリアル・IoT 統括事業本部
WISE-IOT 統括事業本部

古澤隆秋

大阪市中央区南船場一丁目二〇番二〇号
南船場Mビル6階
〒5442
0081 ☎ 06(6)5511-1847

SICK
Sensor Intelligence.

代表取締役社長

松 下 実

東京都中野区本町一丁目三番二号
〒164
0164
☎ 03-3309-1111

株式会社ピーアンドエフ

代表取締役社長

太田 階子

横浜市西区花咲町六一四五
〒2220 横浜花咲ビル5階
0222 0456(四)9077

B&R

B & R 株式会社

代表取締役

小野 雅史

横浜市西区高島一丁目一番二号
〒220
横浜三井ビル15F・23F
02010 〇四五(六三)八四六〇
☎

HMS
HMS インダストリアル
ネットワーク株式会社
AP E C 兼
日本代表取締役
ハンス ヨアヒム
ゾンマー
横浜市港北区新横浜三丁目一八番二号
〒222
新横浜 K S ビル 6 階
☎ 〇四五四七八 五三四〇

日本ワイドミューラー株式会社

代表取締役社長

中村 淳

東京都品川区東品川二丁目一番八号
スフィアタワー天王洲8階
〒114-0002 03(三)六二二(五)三〇〇

PILZ

代表取締役

リジベル オリビエ

横浜市港北区新横浜三丁目一七番五号
いちの新横浜ビル四階

003322
00000000

☎04四五(四七二)二八一

株式会社
ソルトン

代表取締役社長

志賀 彰

横浜市港北区新横浜二丁目七番二号
〒222-0202
03333 60045(四七二)7711

Marubeni
Group

代表取締役社長
丹羽 一郎
大阪市中央区本町二丁目五番七号
〒541
053
☎〇六四七〇八三九〇八

リタール株式会社

代表取締役社長

新岡 卓

〒225-0202 横浜市港北区新横浜二丁目五番二一号
金子第一ビル七階

03-3333-8021

EPLAN株式会社

代表取締役社長

井形 哲三

横浜市港北区新横浜二丁目五番一―号
金子第一ビル七階
〒22202
0333
☎0045(七四)七九〇四

株 式 会 社 新 愛 知 電 機 製 作 所

代 表 取 締 役

小 出 行 宏

愛 知 県 小 牧 市 大 草 字 上 坂 5 9 5 3 番 地 の 1
〒 4 8 0 5
☎ 〇 五 六 八 (六 八) 八 三 〇 一

OJIDEN[®]

大阪自動電機株式会社

代表取締役社長

与田 彰

大阪市旭区大宮四丁目二〇番一八号
〒5335
00002 ☎〇六六九五(一)三三三

暑中お見舞い申し上げます

2023年
(順不同)



株式会社 高木商会

代表取締役社長

中山 広幸

東京都大田区北千束二丁目一番七号
〒114-5006
☎03(378)3611



株式会社 サンセイテクノス

代表取締役社長

浦野 俊明

大阪市淀川区西三国一丁目一番一号
〒553-0006
☎06(663)9111



岡本無線電機株式会社
おおとり株式会社

代表取締役会長

岡本 弘

代表取締役社長

岡本 崇義

大阪市浪速区日本橋四丁目八番四号
〒556-0005
☎06(664)4671



福西電機株式会社

代表取締役社長

堀 久志

大阪府大阪市北区谷力町七番五号
〒530-8484
☎06(681)2914



株式会社 カナデン

代表取締役社長

本橋 伸幸

東京都中央区晴海一丁目八番二号
〒104-6215
☎03(677)8800



サンワテクノス株式会社

代表取締役社長

松尾 晶広

東京都中央区京橋三丁目一番一号
〒104-0031
☎03(510)4011



大和無線電機株式会社

代表取締役会長

堀内 優覚

代表取締役社長

堀内 優

東京都文京区湯島三丁目一三番八号
〒113-0034
☎03(544)8361



中央無線電機株式会社

取締役会長

藤木 正則

代表取締役社長

藤木 愛

東京都中央区八丁堀四丁目一番四号
〒104-0032
☎03(517)3114



鳥居電業株式会社

代表取締役社長

齊藤 修

東京都千代田区外神田二丁目一〇番九号
〒101-0021
☎03(315)7571



ライト電業株式会社

代表取締役社長

岡本 典久

岡山市南区芳泉二丁目二番三二号
〒702-8027
☎08(614)3844



中西電機工業株式会社

代表取締役

中西 政男

名古屋市中央区富士見町九番地一号
〒460-0014
☎05(333)5111



明治電機工業株式会社

代表取締役社長

杉脇 弘基

名古屋市中村区亀島一丁目一三番八号
〒453-8580
☎05(451)7661



NKE株式会社

代表取締役社長

中村 道一

京都市伏見区羽束師菱川町三六六一
〒612-8487
☎075(914)0653



株式会社 マコメ研究所

代表取締役社長

沖村 文彦

長野県上伊那郡佐田町中箕輪一〇八〇一
〒399-4601
☎0265(79)8154



ネットシステム株式会社

代表取締役

西村 浩

東京都狛江市岩戸北三丁目一番七号
〒201-0004
☎03(549)77011



大洋電機株式会社

代表取締役

西村 浩

東京都狛江市岩戸北三丁目一番七号
〒201-0004
☎03(566)8135



アール電子株式会社

代表取締役社長

松本 年生

東京都千代田区外神田一丁目九番八号
〒101-0021
☎03(315)7600



日昭無線株式会社

代表取締役社長

伊佐野 勝利

東京都千代田区外神田二丁目一三番一号
〒101-0021
☎03(315)5668



株式会社 広済堂ネクスト

〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-13
シーパンスS館 13階
TEL 03(345)0556



CALEXテクノロジー株式会社

代表取締役社長

田中 健一

横浜市中区海岸通四丁目二三番
〒223-0021
☎045(288)9477



株式会社 アルファTKG

代表取締役社長

高木 俊郎

東京都中央区日本橋本町四丁目二番一〇
〒103-0023
☎03(315)79016



株式会社 ジェルシステム

代表取締役

星本 嘉恵

東京都千代田区九段南四丁目一番一
〒102-0074
☎03(511)0511



株式会社 シマデン

代表取締役社長

島村 一郎

東京都練馬区北町二丁目三〇番一〇号
〒179-0081
☎03(393)1911



一般社団法人日本配線資材工業会

会長

松本 年生

東京都千代田区外神田一丁目九番八号
〒101-0021
☎03(315)5668



21世紀の新社会築く企業群



工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■古河電子、いわき工場の焼成炉2基が完成。窒化アルミセラミックスの生産を開始

古河機械金属グループで電子部門を担う古河電子は、半導体製造装置や通信機器、レーザー素子などの放熱絶縁部材として需要が拡大している窒化アルミセラミックスについて、福島県いわき市のいわき工場で焼成炉2基が完成し、生産を開始した。今回の炉の増設により半導体製造装置向けφ16インチ（φ400mm）サイズ対応の窒化アルミセラミックス部品の生産能力は1.6倍になる見通し。



■レゾナック、水道向け次亜塩素酸ソーダの生産能力増強を決定

レゾナックは、川崎事業所（神奈川県川崎市）の水道向け次亜塩素酸ソーダの生産能力を増強する。同社ソーダ電解事業の主力製品である次亜塩素酸ソーダは、上下水道をはじめとした水処理の殺菌・消毒等で主に使用されている。関東圏の自治体では水道の殺菌・消毒に液体塩素から次亜塩素酸ソーダへの切り替え、自製次亜塩素酸ソーダから市販の次亜塩素酸ソーダへの切り替えが計画されており、この需要拡大に対応するために生産能力増強を決定した。増強時期は2024年末を計画しており、生産能力は現行比30%以上引き上げの予定。

■トリケミカル研究所、山梨県南アルプス市に次世代半導体用材料の新工場建設

トリケミカル研究所は、山梨県南アルプス市下今諏訪A工業団地に新工場を建設する。現在、国内外で複数の新規半導体工場と半導体製造装置工場の建設が進んでいる。それに対し同社はこれらの新設に伴う需要増に対応するほか、半導体の微細化により必要となる次世代半導体用新規エッチング・CVD材料等の生産拠点として新工場を建設する。敷地面積は3万平方m。2024年末に竣工し、2025年に操業を開始する予定。投資金額は約40億円。

■山形航空電子、第2工場新棟の建設開始 自動車・産機市場向けコネクタ生産増強

日本航空電子工業は、コネクタ事業の生産拠点である山形航空電子第2工場に新棟を建設する。特に成長を牽引するEV向けや産機市場向けの生産能力を増強し、今昭島事業所、弘前航空電子と山形航空電子の国内3拠点をグループの中核拠点として生産体制の強化を進める。山形航空電子は、グループにおけるプレス中核拠点の役割を担いつつ、成形・コネクタ組み立てに業務を拡大し、携帯機器と自動車向けコネクタの生産拠点として発展。2006年に第2工場、2013年に第1工場D棟を建設し、生産体制を増

強してきた。今回、EVなど新規需要の増加に対応し、国内生産の強化でサプライチェーンを強靱化するため、第2工場に新棟を建設することとなった。

新棟は、鉄骨造二階建の延床面積は約1万6000平方m。2023年春の竣工を予定。完成後の第1工場を含めた山形航空電子全体の総床面積は、現状の約3万3000平方mから約1.5倍の4万9000平方mに拡張される。

■富士化学工業、富山県中新川郡上市の郷柿沢工場に製剤第3棟竣工

富士化学工業は、郷柿沢工場（富山県中新川郡上市町郷柿沢）内に製剤第3棟を竣工した。今回建設した製剤第3棟は、粉体供給・混合・造粒・整粒・乾燥まで一貫生産が可能な連続造粒機等、最新鋭の設備を導入し、内服固形剤・顆粒剤などの一般製剤の製造に特化している。新棟は地上3階で、建設面積2525平方m、延床面積5094平方m。



■たつみ工業、千葉県木更津市に不燃断熱パネル製造の木更津プラント竣工

たつみ工業は、千葉県木更津市の「かずさアカデミアパーク」内に、最厚300mm世界初処方連続式不燃断熱パネル（HFO PIR）「TATUMI PANEL」を製造する新工場となる「木更津プラント」を竣工した。ドイツの世界的化学メーカーBASF社と共同プロジェクトを推進し、HFO不燃断熱パネルを採用。またドイツの世界最大手メーカーであるHENNECKE-OMS社の金属サンドイッチパネル連続ラインを国内で始めて導入し、厚みが最大300mmの不燃断熱パネルの製造を可能にしたコンビニやスーパーの業務用プレハブ冷蔵庫用パネルから、大型冷凍冷蔵庫、物流センター、クリーンルーム向けに進出する。



工場と事務所を併設し、敷地面積は4万3377平方m。

■東京精密、埼玉県飯能市のウェーブロービングマシン製造の新工場が竣工

東京精密は、埼玉県飯能市市街合に建設を進めていたウェーブロービングマシンの製造を行う飯能工場が竣工した。5Gの普及、EV、自動運転などの車載技術の進展に加え、AI、IoTに伴うネットワークインフラの進展などにより、世界的な半導体・電子部品の需要が拡大し、それに伴ってデバイスメーカーや半導体製造受託企業、電子部品メーカーなどによる半導体製造装置へのニーズも高まり続けていることを背景に、新工場は、ウェーブロービングマシンの生産キャパシティの拡張を目指して建設。竣工によって半導体製造装置の生産キャパシティは約50%アップすることとなる。新工場は鉄骨造地上6階、延床面積は4万8090平方m。



■日揮触媒化成、新潟県阿賀野市の新潟事業所と福岡県北九州市の北九州事業所を拡張

日揮グループの機能材製造事業会社である日揮触媒化成は、新潟事業所と北九州事業所の事業拡大を目的に、6月に新潟県東部産業団地（新潟県阿賀野市）内の事業用地（約6万平方m）、7月に福岡県北九州市若松区の事業用地（約5万平方m）を購入した。同社は、カーボンニュートラル燃料（合成燃料）用触媒とケミカルリサイクル用触媒・吸着材のほか、高速通信用材料や半導体用機能性研磨粒子などの新規ファインケミカル製品の需要拡大に向け、2025年から2030年にかけて総額約200億円の設備投資（今般の事業用地購入費用を含む）を実施していく。

海外

■エア・ウォーター、インド北部にシリンダーガス充填工場を新設

エア・ウォーターの100%子会社であるAir Water India Private Limitedは、インド北部デリー郊外のファリダバード近郊に、ローリー輸送中継基地を兼ねたシリンダーガス充填工場を新設する。首都ニューデリー近郊を中心とする北部エリアは、同社のガス供給拠点の空白地である一方、製造業の集積が進んで産業ガスの需要が伸長しており、新たな充填工場は長距離輸送を見直して配送業務を効率化しながら新規需要の獲得を目指す。

新工場の敷地面積は約7000平方m。敷地内にはローリー車両の待機場を併設する。工場面積は約4400平方m。2023年6月に建設を開始し、同年12月に稼働を開始する予定。

■川崎重工、米国ワイオミング州でCO₂分離回収技術実証試験設備を建設

川崎重工はカーボンフロンティア機構と共同で、米国ワイオミング州ジレット市のDry Fork石炭火力発電所に隣接するIntegrated Test CenterにCO₂分離回収技術実証試験設備を建設する。2023年10月末に建設と試運転を完了し、11月から環境影響評価試験を実施する予定。

脱炭素エネルギー

■テス・エンジニアリング、日本果実工業山口工場でオンサイトPPAモデルで電力供給開始

テスホールディングスの子会社テス・エンジニアリングは、温州みかん100%ストレートジュースをはじめとする清涼飲料水等の製造を行う日本果実工業の山口工場（山口県山口市）に、オンサイトPPAモデルを活用して自家消費型太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギー電力の供給を4月に開始した。



オンサイトPPAモデルは、工場の敷地を借り、自らの負担で自家消費型発電システムを設置し、発電した電力を工場へ供給・販売して収入を得るモデル。今回のケースでは、テス・エンジニアリングが、日本果実工業山口工場に屋根置き自家消費型太陽光発電システムを設置し、オンサイトPPAモデルとして所有・維持管理を行い、再生可能エネルギー電気の供給を行うもの。年間発電量は約112万kWhとなり、発電した電力の全量を自家消費することで、同工場の年間電力需要量の約3%を賄う。

■ヤマザキマザック、インド工場が本格稼働 ヤマザキマザックは、インド工場の本格稼働を開始した。

インドは、自動車をはじめ医療・航空機・半導体産業などの市場拡大に伴い、今後も工作機械の需要拡大が見込まれなか、同社はインドでの迅速な製品提供とより高品質なサポート提供のため、新たに工場を建設、今年3月より稼働を開始した。新工場では、インド国内向けの新型の立形マシニングセンタ「VC-Ezシリーズ」を生産している。



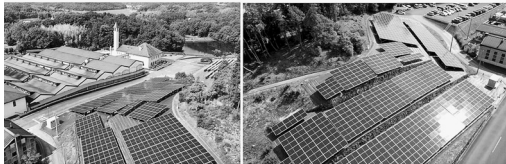
■キュービー、インドネシアで調味料の生産ラインを増設

キュービーは、グループ会社のキュービーインドネシアの本社工場（西ジャワ州プカシ県）に、マヨネーズ・ドレッシングなど調味料の生産ラインを増設し、生産能力を現在の約2.6倍に引き上げる。増設するラインの稼働は2024年11月を予定している。キュービーインドネシアは、2013年にキュービーの東南アジア4カ国目の生販拠点として設立され、食の洋風化や外食産業の発展などを背景に、2022年度の売上は2019年度比で2倍以上に急拡大している。

新たな生産ラインは、家庭用および業務用のマヨネーズ・ドレッシングなど調味料を製造し、年間生産能力は約1万2000トン。インドネシア国内の需要増加を見据えた供給体制の強化を目的とし、自動化設備を導入して品質や生産性の向上に取り組むほか、再生可能エネルギーへの転換なども検討し、2030年度までに生産量当たりのCO₂排出量を50%以下（2018年度比）に削減することを目指す。投資金額は32億円。

■サッポロビール、岡山ワイナリーに太陽光発電設備を導入 年間222トンのCO₂排出量を削減

サッポロビールは、脱炭素社会の実現を目指した取り組みの一環として、岡山ワイナリーへPPAモデルによる太陽光発電設備を導入した。同社生産拠点へのPPAモデルによる太陽光発電設備導入は、2022年の群馬工場尾島事業所と北海道工場に続く3例目で、ワイナリーへの導入は同社初となる。規模は太陽光パネル696枚で総パネル面積としては約1796平方m。設備稼働による年間発電量は約407MWh、CO₂排出量は年間約222トン削減される見込み。



Just in your products
Just Products

挑戦する盤メーカーをサポートする会社

コスト、生産性、脱炭素。
それだけにどとまらない、
銅バー加工の外注化の
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

工場をいろんな無線でつなぎます

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)WISE-4220(Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)WISE-40XX
(Wi-Fi 2.4G)WISE-S100
タワーライトセンサ後付けECU-1051(LTE/Wi-Fi)
ECU-150(LTE/Wi-Fi)
ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ

ARM A8



ARM A53x4



ARM A8

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp/>

[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861